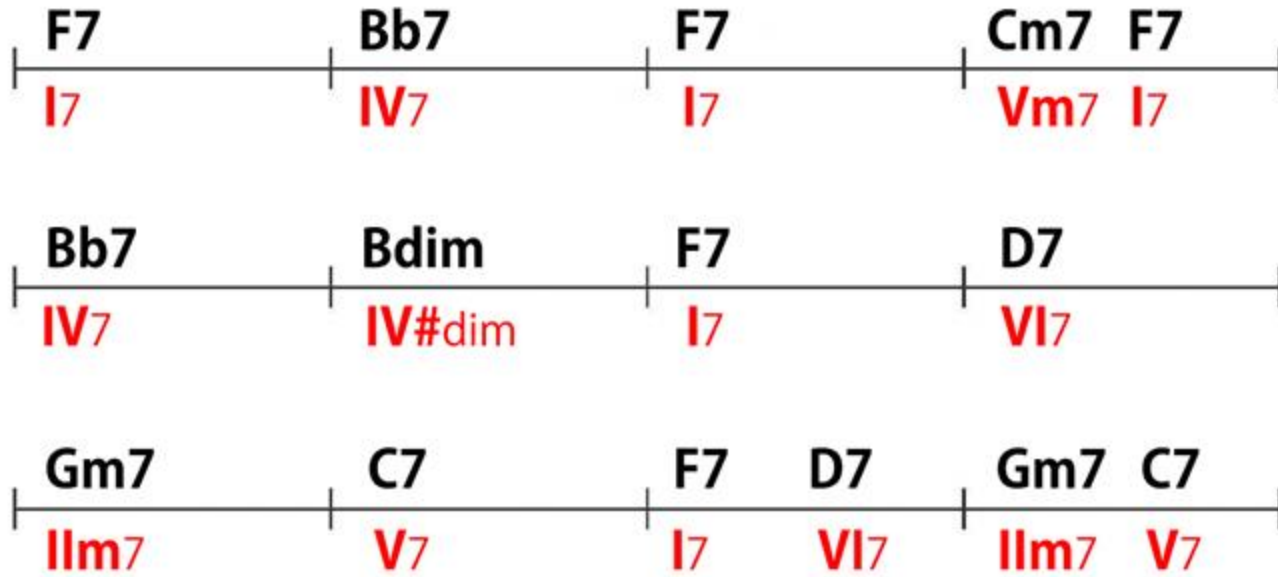


ジャンル別アレンジ/サウンドメイク ジャズ

ジャズとは？

- ラグタイムやブルースをルーツに、アフリカ系黒人たちの間で生まれる。
- 現代のような「ジャズギター」が聴けるようになるのは1940年代のこと。
- 後にフュージョンやポップスにも影響を与えた。

ジャズのコード進行



最も基本的なジャズブルースの進行。ブルースとは違い、ツーファイブが使われたり、VIが使われたり違いがある。

ジャズギターの特徴

ここまでの他のジャンルはソリッドギター前提だが、
ジャズは圧倒的にホロウギターが使われる。

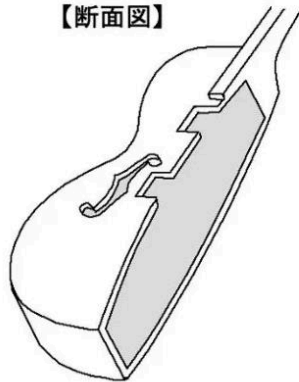
弦も太い弦が使われる事が多く、フラットワウンド(後述)を指弾きで演奏することも多く、
甘く柔らかいサウンドが特徴。

歪ませる事はほとんどなく、テンションを多用し、ルートを省略することも多い

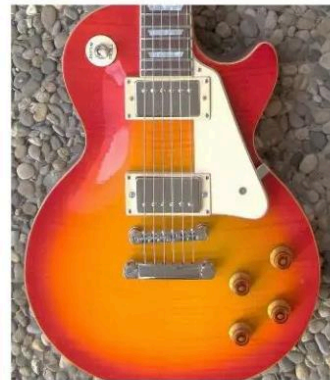
ホロウボディ



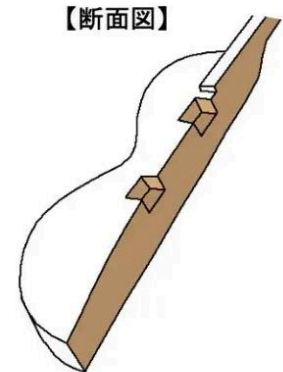
【断面図】



ソリッドボディ

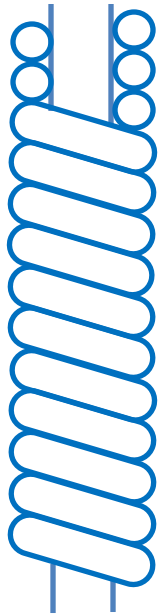


【断面図】



弦の種類による違い

ラウンドワウンド(通常の)弦



- 煌びやかな音
- フィンガーノイズが出やすい

フラットワウンド弦



- 柔らかく甘い音
- フィンガーノイズが出にくい

ジャズのサウンドメイク

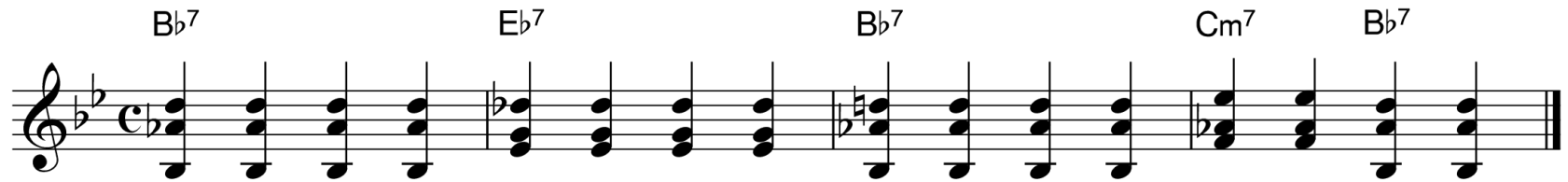


50～60年台のオーソドックスなジャズギターのサウンドを作成。
ホロウギターが好ましいが、今回はレスポールのフロント使用。

Twang Reverbのブライトスイッチオフ、BASS、MID強め、TREBLE弱め。

JAZZ AMPは不向き。

ジャズのアレンジパターン①



ジャズブルースの進行をキー=Bbで演奏、スウィングの基本である「4つ打ち」をイメージ。全てダウンピッキングが基本。ハイポジションでの演奏が一般的。

ジャズのアレンジパターン①

打込みのポイント

発音タイミングはダウンスタイルでずらす、テンポ早いので大きめにずらしてOK

音価よりデュレーション短め。シャッフルの裏で切るとそれらしくなる。
1、3拍を短め、2、4拍をやや長めにするとオフビート感が出る。

ベロシティは全体的に弱めだが、オフビートは強めに。

シャッフル裏にはブラッシングを入力。コードチェンジ前の4拍裏にはアップストロークでのゴーストノートを極く短い音価で入力。

ジャズのアレンジパターン①

The screenshot shows a music software interface with a piano roll. The piano roll has a vertical axis for pitch (C1 to C7) and a horizontal axis for time (measures 26.4 to 31.4). The notes are represented by horizontal bars of various colors (blue, red, purple). Annotations include:

- A large black box at the top containing the text: **ブラッシング (アップストローク) のアーティキュレーション (2種類あるがどちらもアップ)**
- Below that, a smaller black box with the text: **1、3拍目はやや短め、2、4拍目はやや長め**
- Two arrows pointing to specific notes with the text: **アップストロークによるゴーストノート**

The piano roll also shows a keyboard on the left and a piano roll with a vertical axis for pitch (C1 to C7) and a horizontal axis for time (measures 26.4 to 31.4). The notes are represented by horizontal bars of various colors (blue, red, purple). The piano roll also shows a keyboard on the left and a piano roll with a vertical axis for pitch (C1 to C7) and a horizontal axis for time (measures 26.4 to 31.4).

ジャズのアレンジパターン②

The image displays two staves of jazz piano accompaniment notation in Bb major, 4/4 time. The first staff shows a sequence of chords: Bb7, Eb7, and Eb7. The second staff shows: Bb7, Cm7, Bb7, and Eb7. The notation includes various voicings, slurs, and accents.

「4つ打ち」ではなくリズムをつけたパターン。いわゆるコンピング。

コードチェンジを前拍からクロマチックアプローチで行うのが特徴。

ツーファイブでは、Cm9 - Bb7(b13) - Eb9 と行ったテンションを使用。
コードフォームが似ていて動かしやすい進行。

ジャズのアレンジパターン②

打込みのポイント

コンピングを強調する場合、裏でもダウンで弾く。
→低音～高音にタイミングをずらす。

シャッフルの裏は気持ち遅めの方がジャズらしいグルーブが出る。

ベロシティは全体的に弱めだが、強調したいコンピングを強めに。

休符部分にミュート、シャッフル裏にブラッシングを入力。
実際の演奏よりアーティキュレーション多めでも打ち込みならリアルさが出てOK。

ジャズのアレンジパターン②

The screenshot displays a music software interface with a piano roll and a MIDI piano roll. The piano roll shows a sequence of notes in purple and red, with annotations in Japanese. The MIDI piano roll shows a sequence of notes in purple and red, with annotations in Japanese.

Annotations in the piano roll:

- ミュートのアーティキュレーション (Mute articulation)
- ブラッシングのアーティキュレーション (Brushing articulation)
- 裏拍でも強調したい箇所はダウンで弾かれる事が多い (In backbeats, places we want to emphasize are often played with a downstroke)
- シャッフルの裏は少し遅めにした方がジャズっぽい (In shuffle, it's a bit more behind the backbeat for a jazzier feel)

Annotation in the MIDI piano roll:

- クロマチックアプローチをピッチベンドで入力 (Enter chromatic approach with pitch bend)